

利用者様の声

私は、勝山病院の回復期病棟から退院して、平成28年6月から通所リハビリを利用しています。今は歩行器を使って歩いていますが、勝山病院の通所リハビリにとっても満足していますよ。技術があるスタッフも揃っていて最高です。ここ以外は何処にもいかないよ。今の技術をもっと積んでいって更に利用者が満足できるリハビリをめざしてください。

本当に言うことは無いんだけど、強いて言えば一本杖で歩きたい事と、今は足湯だけやっているから家で浴槽に入りたいね。これからも頑張るのでよろしくをお願いしますよ。



通所リハビリ利用者：新城 堅一様
「利用時は自主運動も頑張っています。」

医療法人
琉心会
第14号
平成29年2月



りゅうしんだより



診療科目

- 内科
- 整形外科
- リウマチ科
- リハビリテーション科

外来受付・診療時間

		平日	土曜日
午前	受付時間	8:30~12:00	8:30~12:00
	診療時間	9:00~12:30	9:00~12:30
午後	受付時間	13:00~17:00	休診
	診療時間	14:00~17:30	

外来表

	月	火	水	木	金	土
午前	内科 (大城一夫)	内科 (比嘉敏夫)	内科 (金城正佳)	内科 (亀田典佳)	内科 (比嘉敏夫)	内科 (大城一夫)
		内科 (真喜屋実之) ※第2・4週		整形外科 (井上尚久)		整形外科 (島尻郁夫)
午後	内科 (亀田典佳)	内科 (仲間ベンジャミン)	内科 (山川順子)	内科 (仲間ベンジャミン)	内科 (山川順子) (小槻智丸)	休診
	整形外科 (伊波興広) ※リウマチ 外来のみ		整形外科 (伊波興広) ※第2・4週 リウマチ外来のみ	整形外科 (井上尚久)		

勝山病院

介護老人保健施設
あけみおの里

地図 〒905-0007 沖縄県名護市屋部468-1



高齢者ハウス りゅうしん

地図 〒905-0016 沖縄県名護市大東三丁目20番14号



医療法人 琉心会

名護市字屋部468-1

琉心会理念

利用者の尊厳を守り

安心 信頼 満足

のある、医療と福祉を提供し、
地域の皆様と共に歩み、
豊かな社会創造に努めます。

勝山病院

住所 沖縄県名護市屋部468-1
TEL (0980)53-7777

介護老人保健施設 あけみおの里

住所 沖縄県名護市屋部468-1
TEL (0980)53-0999

高齢者ハウスりゅうしん

住所 沖縄県名護市大東3-20-14
TEL (0980)51-0022

りゅうしん指定訪問介護事務所

住所 沖縄県名護市屋部468-1
TEL (0980)53-7732

りゅうしん指定訪問看護ステーション

住所 沖縄県名護市屋部468-1
TEL (0980)53-7732

りゅうしん指定居宅介護支援事務所

住所 沖縄県名護市屋部468-1
TEL (0980)53-7732

年頭のご挨拶

医療法人 琉心会 理事長 島袋 茂照



初春を迎え皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、2017年を迎えるにあたり年頭のご挨拶を申し上げます。
当法人は、平成3年に勝山病院（内科、小児科、理学診療科 150床）を開院して以来、老人保健施設あけみおの里、各種居宅介護支援事業所、高齢者ハウ斯里ゅうしんや通所介護事業などを展開し、今日350名余の職員を擁する事業所となっております。

琉心会としましては、ご利用者の尊厳を守り「安心・信頼・満足」の理念を実践するため、職員の資質向上や事業の充実強化を図ってまいります。

さらに、我が国の最大の課題であります、世界に類をみない超高齢社会の到来については、すべての団塊世代の方々が75歳以上となる2025年を見据え、地域の皆様が住み慣れた地域で安心して生涯を過ごせるように、地域のご要望をきめ細かく反映できますように、医療・保険福祉及び介護事業を実践し、行政や関係機関・団体と緊密に連携を図るとともに、地域包括ケアシステムの中核を担えるように役職員一丸となって取り組んでまいります。

開設以来26年間、地域の皆様に支えられ存続・発展してまいりました。絶えず感謝の気持ちを忘れず、利用者本位のサービスを提供してまいります。

結びに、皆様とご家族のご健勝とご多幸を記念し、新年の挨拶とさせていただきます。

平成29年1月吉日

勝山病院
院長
比嘉 敏夫



介護保険老人保健施設
「あけみおの里」
施設長
石川 清司



高齢者ハウ斯里ゅうしん
施設長
島袋 権勇



新年のごあいさつ

新しい年を迎えご挨拶を申し上げます。
昨年は熊本での二度の大地震、北海道へ四度の台風の上陸など予想外の災害がありました。さて私達の生活の中では予想されていたことが現実になってきています。日本が世界で例を見ない超高齢化社会になってきていることです。

‘2025年問題’という言葉聞いたことがあると思います。2025年に1950年生まれの人達が75歳に達し、団塊世代がすべて後期高齢者になり日本のこれまでの様々な制度の変革が必要になります。特に高齢者に必要な医療、福祉は国家レベルで改革が進められています。私ども琉心会は26年間北部で高齢者を対象に医療と福祉を行ってきました。高齢者の多い沖縄県の中でも北部は高齢化が進んでおり、このような高齢の方々への医療と福祉の必要度はますます増えていきます。勝山病院は回復期リハビリ病棟と療養病棟で多くの患者さんを御世話しています。この一年も職員一人一人が研鑽し、地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。今年もよろしくお願い申し上げます。

平成29年1月吉日

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、大きな台風もなく穏やかな1年でした。しかし、世界の政治情勢もさることながら、沖縄の戦後も終わりを告げることなく、波乱の都市を迎えることになりました。

私こと、35年間の「がん」の診療から大きく方向転換を図り、介護老人保健施設「あけみおの里」において、お年寄りの方々のお世話をすることになりました。名護湾を見おろす景観の中で、「勝山病院」、「あけみおの里」において、多くの方々の健康管理のお手伝いができますことを誇りに思います。

人の一生は、喜怒哀楽のあけくれと表現されますが、また苦難の連続でもあり、「健康長寿」は誰しもの願いであります。入院・入所・ショートステイ・通院・通所・高齢者ハウス等と琉心会の各施設は、皆様方の多様なニーズに応じて、「健康長寿」、そして快適な老後の実現のために、きめの細かい介護とリハビリ、看護と医療を提供すべく全力を尽くします。

新年が皆様方とご家族にとり、平安に満ち溢れた良き年となりますようお祈り致しますとともに、平和な島「沖縄」実現のために皆で力を合わせて歩んでいきましょう。

平成29年1月新春

新年のご祝詞

輝かしい新春を迎えるに当たり心からお慶び申し上げます。

光陰矢の如しと、たとえのある通り「高齢者ハウ斯里ゅうしん」も開設して6年目を迎える事になりました。

これも偏にご利用様はじめ地域の皆様、琉心会役職員の暖かいご理解とご支援の賜物と心から感謝申し上げます次第でございます。

昨今、多様化する福祉二ズの高まる中にある国の福祉政策は次々と制度の見直しが行われ、高齢者や福祉施設を取り巻く環境は尚一層厳しくなる事が予想されます。そのような中でも我々職員一同は、常に利用者様が希望を持ち安心と安らぎのある暮らしをサポートする為、切磋琢磨しつつ資質向上に努め地域に信頼される施設としての役割を果たして参りたいと思います。本年もご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年1月吉日

地域の皆様へ・・・勝山病院回復期リハビリ病棟より

リハビリテーション部科長 理学療法士
山城 太誉

勝山病院に回復期病棟を立ち上げ、早11年が経過しました。当初、北部地域に回復期病棟はなく、経済的・時間的に患者様や家族様の負担を軽減し、スムーズに在宅へ戻っていただくことを目的でスタートしました。44床でスタートした回復期病棟も80床に増え、やんばる地域全体でスムーズな在宅復帰を援助できるようになりました。これもひとえに地域で協力してくださった皆様のおかげと感謝しています。当病棟のリハビリ職員も約50名を超え、方針も単に在宅復帰を目指すのではなく、より安全に・安心して自宅へ帰れるよう「質」を求めて日々精進しています。

私達は、患者様が早期に地域で生活できるような様々な取り組みを行っており、回復期病棟でも可能な限り患者様に寄り添った関わり（入院後すぐの自宅訪問や自宅での生活動作練習、外泊・外出時の介助指導など）をこれまで同様に継続していきたいと考えています。また回復期病棟退院後も生活を確立する目的で退院後の訪問も行っており、退院後の外来診療も可能です。全ての要望に沿うことは困難かと思いますが、誠心誠意対応させていただきたいと思っておりますのでいつでも御相談ください。これからも勝山病院回復期リハ病棟をよろしくお祈りいたします。

追伸：入院している患者様方は日々シンプルな生活を過ごされています。お知り合いの方々と顔を合わせ、話をすることでより心も体も元気になります。いつでも来院をお待ちしています。なお、面会に関しては、時間内であれば常に可能です。（※インフルエンザや感染性腸炎などの流行時には面会を制限することもあります。）



レクリエーションの様子



リハビリテーションの様子



クリスマス会の様子

通所リハビリ(デイケア)の紹介

リハビリテーション部科長 作業療法士
松田 仁孝

平成28年1月から通所リハビリを開始し、早1年が経過し、月日の過ぎる速さを実感しております。当院の通所リハビリは地域の方々の支えや多くの関係機関のご協力の元、少しずつ成長する事が出来、感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございます。

利用者の方々の笑い声や笑顔に癒される毎日でお褒めの言葉を多く頂く反面、まだまだ課題も残っており、ご迷惑をおかけしている部分もあるかと思いますが、利用者の方々がこれからも安心・安全に楽しく地域生活が送れる様、スタッフ一同努力していきます。地域の方々の『こころとからだ』が元気になる通所リハビリを目指しますのでこれからもご指導の程よろしくお祈り致します。

理学療法士7名、作業療法士2名、言語聴覚士1名(専任2名、非常勤7名)、介護士2名、相談員1名が通所リハビリに在籍しています。



自転車漕ぎを頑張る利用者の方々とそれを支える通所リハビリスタッフ

事業所の紹介

りゅうしん訪問看護ステーション 訪問リハビリ部門

りゅうしん訪問看護ステーション訪問リハビリ部門は平成18年11月に開設、やんばる全域を対象としてサービスを提供しています。1日100km以上の移動も少なくない中、「年齢・障害の有無に関わりなく住み慣れた町、住み慣れた家で自分らしく過ごせる生活を実現する力になりたい」、そんな思いを胸に10名のスタッフ(リハビリ専門職)が日々、やんばるを奔走しています。

リハビリという言葉は、「あるべき(適した)姿(生活)を再生・再建する」という意味があります。訪問リハビリは「自宅で行うリハビリ」であり、退院直後の生活への不安が大きい時期や、活動の転機(家事・趣味・外出をやめた、またはやりたい)、体調不良などによる長期の安静による体の変化(体力の低下)や意欲の低下など、生活の中で生じる問題を、利用者さんやそのご家族さんと共に考え、解決の術や解決までの計画づくり、環境の改善や適した道具の紹介など、問題の解決に必要なサポートをするサービスです。

80歳の登山家があります。90歳のスイマーがあります。100歳の短距離選手があります。「もう歳だから」、「こんな体じゃ」とあきらめずに、自分らしい生活を一緒に取り戻しましょう。

自宅で行うマンツーマンのリハビリです。十人十色の生活・家庭に寄り添い、自己実現をサポートできることがこのサービスの強みです。

皆様のご利用・ご相談、スタッフ一同心よりお待ちしております。

りゅうしん訪問看護ステーション
訪問リハビリ部門
主任 友寄 弘人



訪問リハビリの様子

介護老人保健施設あけみおの里

あけみおの里は併設している勝山病院や訪問介護・訪問看護・訪問リハビリテーション、その他の事業所と連携を取り合いながらご利用者様の、入所生活・ご自宅での生活を支援しています。

●入所システム (100床)

要介護1～5までの病状が安定された方を対象に医療・日常生活の介護・専門スタッフによる総合的なリハビリ目標を計画し、日常生活の改善・意欲の向上を目指し、家庭復帰へのお手伝いをしております。

●短期入所・介護予防短期入所 (ショートステイ)

ご家族様の介護負担の軽減や、一時的にご自宅での介護が難しい際に短期間のご入所が可能です。

●通所リハビリ・介護予防通所リハビリ (40名)

ご自宅から施設に通っていただき、リハビリ・入浴・昼食・レクリエーション等を行うサービスです。

介護老人保健施設あけみおの里
総務課 課長補佐 島袋 豪



名護湾を一望出来る環境の中で、心と身体のケアを行います。

医師・看護師・介護福祉士・ケアマネージャー・リハビリ・栄養士等の豊富な専門職がいます。

りゅうしん大東指定通所介護事業所 (デイサービス)

りゅうしん大東デイサービスは高齢者ハウスりゅうしん(有料老人ホーム)に併設し、27名のスタッフを配属しています。リハビリ専門スタッフを3名配置し、看護師、介護職員、相談員と連携を取りながら各種機能訓練も行っており、また、季節ごとの行事や誕生会、ドライブ、地域の子供達とのふれあいを通して楽しみや生きがいを感じて頂ける催しを企画して、皆様には大変楽しんで頂いております。

地域の皆様にも是非施設を利用して楽しんでもらいたいと思います。ご利用・ご相談の連絡をお待ちしております。

高齢者ハウスりゅうしん
総務課 主任 上江洲 達也



子ども達とのふれあい友愛訪問の様子

出産・子育て・ 仕事の両立にむけて



勝山病院 いらい病棟 看護師 玉城 英子

平成26年12月に二女を出産し、1年間育児休暇を頂きました。久々の出産でもあり、幼い子どもがいての職場復帰には不安がありました。復帰した際の配置は回復期病棟と新しい環境になることに対し増々不安が募りました。しかし、師長をはじめ、いらい病棟スタッフのあたたかい言葉かけ、サポートがあり仕事と子育ての両立をすることができています。この環境に心から感謝し、この恩を少しでも返せるよう頑張っていきます。



勝山病院リハビリテーション部 幸地 貴之(理学療法士) 由貴子(作業療法士)

平成27年3月、無事に第一子を出産しました。妊娠中から体調が優れず病休、そして産休・育休とお休みを頂きました。産後は、私の体調が優れず治療を要するという事で、夫も3か月程の育休を頂きました。私だけでなく、夫も休むことに対し申し訳なさを感じていましたが、私たちが気にかけ、職員の皆さんが温かい言葉をかけてくれました。大変な時期もありましたが、夫やリハビリ職員だけでなく他部署の皆さんの支えがあり乗り越えられることが出来たと感じています。職場復帰をしてからも、スタッフの皆さんの理解や協力があり頑張れています。これからも、仕事を通し皆さんに恩返しができるよう、より一層頑張っていきたいと思っています。

勝山病院 ゆがふ病棟 看護師 具志堅 多恵子

平成24年に第2子を出産し職場復帰しましたが、子どもの体調不良で急に休む事も多くありましたが、職場環境に恵まれ子どもとの時間も大切にしながら仕事をさせて頂いています。病棟スタッフの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、家庭と仕事どちらも大切にしながら頑張っていきたいと思っています。

勝山病院 リハビリテーション部 理学療法士 嘉陽 久美子

平成27年第一子を出産し、職場復帰しましたが、子供が小さいために何度も急なお休みを頂き、その度にスタッフ皆様のサポートが得られたことで、仕事と家庭を両立することが出来ました。しかし、本年は第二子妊娠に至り、更に自分自身の状況はより厳しい状況でしたが、今回も快く祝福の言葉を頂きつつサポート頂いたことで産休まで無事に仕事することが出来ました。当院スタッフの皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。育児休暇から復帰した際には、スタッフを支える人材になれるように頑張っていきたいと思っています。

子育てと仕事の両立を目指して頑張るスタッフ



上：玉城 英子、嘉陽 久美子、高山 雅、幸地 由貴子
下：中山 貴早

ストレスチェック制度実施を終えて

平成27年12月より施工された「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度」を平成28年9月に勝山病院全職員を対象として行いました。

当院ではすでに3年前からストレスチェックを実施していましたが、今回は法律に基づいての実施となったため、簡易調査票の配布・回収方法、実施後の本人へのアプローチなどが個人情報保護法の関係でかなり複雑となり実施する側、また受ける側も不安だったと思います。

しかし、制度化されたことで氏名明記での受検となり結果を直接本人へフィードバックすることができ、「受検して良かった。」や部署でお互いが結果を見せ合っていたなどの声も聞こえ、少々安心しました。

ただ、ストレスチェック制度は国としても初の試みとなったため色々な関係機関に問い合わせをしましたが、こちらが求めている回答が得られず戸惑ったのは当院だけではないと思います。

今後は、制度が初回の報告をもとに、より良い実施内容になり、あらゆる職場で働く労働者にとって有効な活用ができる制度となっていくことを願っています。

当院でも、今後も働きやすい職場環境づくりに努めていきたいと思っております。

勝山病院衛生管理者 伊野波 涼子



画：新垣光永 (OT)

一ロメモ お医者さんの知恵袋

医師：金城 正佳

下肢浮腫(むくみ)と下腿筋(ふくらはぎ)

足の浮腫で来院する患者さんは意外と多い。このような患者さんに採血(TP, Alb, BUN, Cr, 電解質、*BNP)、尿検査(蛋白、Na)、胸部レントゲン検査(心拡大)を行う。浮腫が両足か、片足かの相違は大事な所見である。必要があればエコー検査(心臓、肝臓、下肢静脈)、追加採血(甲状腺ホルモン)を行う。状況により一日水分摂取量をチェックする。それらの検査で心臓、腎臓、肝臓、甲状腺、下肢静脈瘤などの病気を診断、低栄養、Na、水分過剰摂取がチェックでき、それに応じた治療を開始する。

では、検査で異常が見つからなかったらどうする？

デスクワーク、長期臥床、車いす生活の人達に異常の見られない場合がある。長時間同じ姿勢でいること、つまり下腿筋群を使わないことが浮腫の原因となる。下腿筋群は足を流れる静脈血・リンパ液を心臓に押し上げるポンプ作用を有することから第二の心臓と呼ばれる。足首の屈曲運動は下腿筋を動かすことであるから、仕事中でも運転の合間でも、1時間に5～10分間の足首・膝の屈曲運動は浮腫の予防・改善につながる。職業柄、同じ姿勢で長時間作業する方は、専門医に相談し足を計測(足の各部位の周径を計測)、自分専用の弾性ストッキングを購入して仕事中はしっかり着用することをお勧めします。

*BNP:脳性ナトリウム利尿ヘプチド

地域でのリハビリ活動 (体操教室)

毎月2～3回程、リハビリスタッフが地域のミニデイサービスで出張体操教室を行っています。簡単なストレッチや筋力強化体操が中心ですが、普段意識しないところを動かしている感じる事ができると、住民の皆さんからも好評を頂いています。

身体的な不安を抱える方でも住み慣れた我が家で元気に暮らして欲しい、少しでも地域の力になりたい、との思いで始めた活動でしたが、皆さんの活気が私達のエネルギーになっています。

健康維持・増進に向け、有意義な時間が届けられるよう、これからも努力を重ねていきたいと思っております。

勝山病院 通所リハビリ
理学療法士 比嘉 悦子

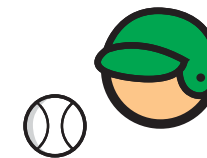


体操教室の様子(宇茂佐公民館)

琉心会野球部

琉心会野球部は、琉心会の職員で構成されていて、年間を通じて活動しているクラブです。過去の大会で優勝したこともあり、平成26年の秋季大会では準優勝するなど輝かしい戦歴もあります。勤務の関係で人数調整も難しく最近は大勝から遠ざかっていますが、また近いうち優勝できるように練習し、部員一丸となって活動していきたいと思っておりますので応援の程よろしくお願致します。

あけみおの里
作業療法士 河原 寅吉



平成26年 秋季大会 準優勝メンバー

平成28年度 医療法人琉心会 20年及び10年勤続表彰者

おめでとうございます!



末吉 美保	勝山病院 (看護師)
平良 薫	勝山病院 (准看護師)
金城 静子	勝山病院 (医事課長)
比嘉 緒理枝	あけみおの里 (介護福祉士)

比嘉 勝政	勝山病院 (看護師)
具志堅 多恵子	勝山病院 (看護師)
久高 さやか	勝山病院 (介護福祉士)
岸本 恵一	勝山病院 (作業療法士)
神山 真知子	勝山病院 (理学療法士)
岸本 むつみ	勝山病院 (言語聴覚士)
宮城 貴美子	勝山病院 (地域連携室)
長田 勇	あけみおの里 (総務課)



平成28年度 医療法人琉心会 20年及び10年勤続表彰者 平成28年12月9日